

公開研究会・史料展示会「海図と歴史」のご案内

「旧赤門書庫旧蔵地図」は、史料編纂所の前提となる諸機関から伝来した地図群です。旧赤門書庫(現、伊藤国際センターの一部)の最奥部に、ロール状にまかれたかたちで、タイムカプセルのように保管されてきました。私たちの研究グループは、現在その整理・検討・目録作りをおこなっています。

「旧赤門書庫旧蔵地図」には、これまでその実物の存在が不明であった、貴重な海図が多数含まれています。今回の公開研究会・史料展示会はこれらの海図を主題として開催いたします。

ご来場をお待ちしています。

日時 2013年3月1日 14時～17時

場所 東京大学福武ホール地下一階・大会議室

14:00～15:15 講演 今井健三氏((一財)日本水路協会技術アドバイザー)
「海図の歴史—表現方法の変化と管理体制」

【内容】

1. 海図の目的・特徴、明治以降の日本海図の歴史、現在の世界の海図事情について。
2. 英国水路部のアーカイブ、海上保安庁海洋情報部の海図の管理体制について。
3. 明治期における海図製図法についてその発端から表現技術の変化を地形表現、海図記号、対景図等を例に今回調査の海図から読み解く。

15:30～17:00 海図展示 解説 鈴木純子氏

(東京大学史料編纂所画像史料解析センター共同研究員)

【内容】調査図のなかから日本および英版海図の一部を選び、旧版海図の表現にふれるとともに、幕末から明治初期にかけての、日本や諸国による日本周辺水路情報収集活動の蓄積を見る。

主催: 科学研究費補助金・基盤 C

「近代化模索期の『国史』編纂と地図作成—赤門書庫旧蔵地図の研究」

東京大学史料編纂所画像史料解析センター 「赤門書庫旧蔵地図」PJ

申し込み先:

(<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>)